

復興研究会報告

NO.13(平成29年度 第1号)

発行
岩手県立大槌高等学校
復興研究会・OA部
発行日
平成29年6月20日

第13回定点観測

5月20日(土)と21日(日)に第12回定点観測が行われました。この活動は神戸大学近藤研究室の方々と、町方復興CMrの方々のご協力のもと行っている活動です。年に3回行い、1回につき180か所の地点を震災前と同じ場所・角度から撮影し、視覚的に復興の様子を町内外の方々に伝えていけるように活動しています。

あまり変化がない場所もあり、復興とは簡単に進まないことを実感しました。今回の定点観測では、家がだんだん建ってきた様子や子供たちが遊んでいるのを見て震災前の大槌が思い浮かびました。
(1年女子)



事前学習では、大槌の地図を作成することによってそれぞれの地図に何があるのか再度考えることも出来ました。普段撮ることがない場所から観測することで前回と比べてみて復興の状況がわかることが出来ました。残り少ない定点観測を大切に記録として後輩達につなげていきたいです。
(3年女子)

観測をしていて、次は違う所を見ていろいろ大槌町の復興している所に気づいて自分も復興に携わりたいです。
(2年男子)



今回、久しぶりに、吉里吉里を定点観測しました。少し見ない間にすごく変わっていて驚きました。これからも変化していくと思うので、ちゃんと観測していきたいです。町方も少しずつ変わっているの、これからどんな風になるのか楽しみです。
(2年男子)

今回私は、初めて定点観測に参加しました。私は町方Bを観測しました。震災前と震災後の変化が大きくて、場所が全然わかりませんが、前回からの記録などを見ながら、先輩達にもおしえてもらい、楽しく活動できました。

このような活動は初めてでしたが思ったより楽しくできてよかったです。
(2年男子)



前回よりも進んでいる所がありました。また、建物も建ってきて1年前よりも変化してきている。早く復興してほしいです。

(2年男子)



みただけでも復興が進んでいると改めて実感することができました。将来、大槌町にどんな人が住み、どんな町になっていくのかがとても楽しみです。

(2年女子)



前回に続き、今回も町方へ行きました。ほかの地域にも興味はあるのですが、1番よくいくところの方が安心感があるので、町方にしました。今回はとても暑い中での活動で大変でした。

写真を撮るとき、新しい建物や盛り土が目につきました。前回の写真と比べると、短期間でずいぶん建物が増えたように思えます。

(2年女子)

前回とは違い、家も建ってきて人が生活できる環境になってきていました。復興の変化を見られるように、これからの定点観測に積極的に参加しようと思います。

(2年女子)

今回も前回と同じく吉里吉里を観測しました。住んでいるのにまた違った見方をすることで多くのことを発見しました。去年まで通れていた道路が通行止めになっていたり、更地だったところに土が盛られていたりしていました。また、復興していく吉里吉里を観測することができました。新しく進化していく吉里吉里を見るのが楽しみです。

(3年男子)

この2日間を通して、いろいろな先生や大学生と交流しながら活動することができました。私は、1日目の終わりの言葉と2日目の始まりの言葉を担当し、緊張しました。しっかりと話すことができたのでよかったです。

今回で7回目の参加となったので、なれてきたのかてきぱきと作業することができました。次回も参加できたらしたいと思います。

(3年女子)

今回は、3年生になって初めての定点観測でした。安渡では、主に道路や電柱の変化が大きく見られました。町方Bでは、新しい住宅やお店がたくさん建っており、前回来たときよりも大きく変わっていました。



【町内にある津波の碑】